

## ボーリング柱状図

東南海 南海地震予測のための地下水等総合観測施設整備工事  
(愛媛県新居浜市地区)

[illegible]

シート

ボーリング名	孔 1			調査位置		愛媛県新居浜市黒島2-12 黒島海浜公園内						北 緯		33' 59' 25.49"					
発注機関	独立行政法人 産業技術総合研究所					調査期間		平成 24年 2月 29日 ~ 25年 2月 28日				東 経		133' 20' 32.11"					
調査業者名	株式会社 日さく 電話(048-644-2101)			主任技師		渡辺 寛		現代 場人		酒井 誠志		コ 鑑 定 者		ア 鈴木 悠爾		ボーリング 責 任 者		蛇川 久悦	
孔口標高	7.635m	<div>角</div> <div><div>180 上 90 下 0</div><div></div></div> <div>方</div> <div><div>北 0 270 西 0 東 180 南</div><div></div></div> <div>地盤勾配</div> <div><div>鉛直 水平0 90</div><div></div></div> <div>使用機種</div>	T S L																
総掘進長	570.00m		度	向	試 錐 機		エ ン ジ ン		45kW		ポ ン プ		NP-1000						

[illegible]









[illegible]

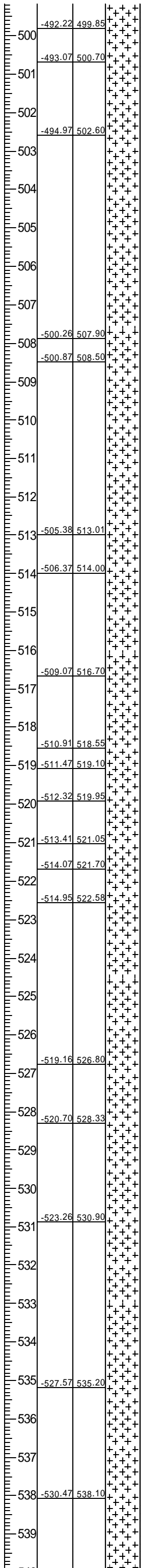






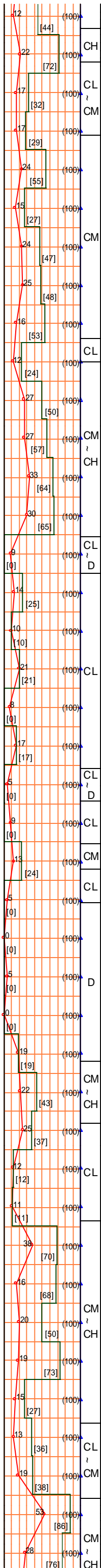






C		c	
A	$\wr$	a	$\wr$
B	$\wr$	b $\wr$ c	
A $\wr$ B	$\wr$	a $\wr$ b	
C	$\wr$	d	
A	$\wr$	a $\wr$ b	$\wr$
C $\wr$ D	$\wr$	d	$\wr$
B $\wr$ C		c	
C $\wr$ D	$\wr$	c $\wr$ d	$\wr$
B		b	
C $\wr$ D	$\wr$	d	
C		c	
B		b	
B $\wr$ C		c	$\wr$
D	$\wr$	d	
A $\wr$ B	$\wr$	a	
B $\wr$ C	$\wr$	b $\wr$ c	
A $\wr$ B	$\wr$	b	
B	$\wr$	b $\wr$ c	
A		a	$\wr$

<p>割目に発達しており、且全10mm程度の斑状で分布している様子が目立つ。</p>	
<p>500.70m ~ 502.50m 特に亀裂が多く、コアは岩片状主体である。亀裂の周囲は若干灰色に変色している。</p>	
<p>504.60m ~ 505.00m 亀裂が多く、コアが一部岩片状となる。</p>	
<p>505.60m ~ 509.30m 高角度の亀裂が発達している。全体的に灰白色に変色しているが、コアは硬質である。506.80m付近の亀裂には、再固結した粘土・礫が挟まる。</p>	
<p>507.90m ~ 508.50m 脆弱で、コアは礫状となっている。コアは薄茶色に変色している。</p>	
<p>509.70m ~ 513.10m 全体的に灰色に変色している。コアは新鮮だが、部分的に亀裂が集中し、脆弱な箇所も認められる。</p>	
<p>亀裂が多く、脆弱な箇所は礫もしくは砂状となっている。新鮮な箇所は短柱状のコアとして残っているが、微細な密着亀裂は多く認められる。全体的に白みがかっており、有色鉱物はほとんど認められない。</p>	
<p>514.90m ~ 516.80m 割れ目（亀裂）の面のみ、暗褐色に変色している。</p>	
<p>516.20m ~ 516.50m 長さ15cm程度の短柱状のコアが残っている。</p>	
<p>518.60m ~ 518.90m 短柱状のコアが残っているが、密着亀裂が多く、コアの表面はよく離れている。有色鉱物はほとんど認められない。</p>	
<p>（519.00m ~ 519.60m、コアの割れ目が暗色化している）</p>	
<p>520.10m ~ 520.90m 縦方向の亀裂が発達しており、脆弱となっており、コアは岩片状である。</p>	
<p>521.00m ~ 522.00m コアは短柱状～岩片状で、周囲と比較し、新鮮・硬質な状態である。やや不明瞭であるが、花崗岩の原岩の構造が残っている。</p>	
<p>522.50m ~ 526.80m 極まれに岩片状が残っている箇所もあるが、概ね、礫・砂状である。</p>	
<p>コアは新鮮で、短柱状～岩片状である。約10cmおきに亀裂があり、高角度の亀裂も認められる。</p>	
<p>コアは概ね脆弱で、岩片状・礫・砂状である。岩片状のコアには、破碎後再固結したような形跡が認められる。（528.90m付近）</p>	
<p>長柱状～短柱状のコア主体で、一部岩片状の箇所も認められる。白色～灰白色の石英主体の箇所が多く、531.50m～533.70mは有色鉱物があまり認められない。</p>	
<p>亀裂が多く、コアは短柱状～岩片状である。536.20m～538.10mは高角度の亀裂が多く、付近は白く変色している。537.90m～538.10mは亀裂が特に集中しており、亀裂面は暗色化している。</p>	
<p>新鮮・硬質で、コアは長柱状～短柱状である。538.60m付近は亀裂が集中し、暗色化している。</p>	



[illegible]